

公益財団法人日本バレーボール協会 2016年度第9回理事会(定例) 概要

1 日 時：2017年3月14日(火) 14:00～16:30

2 会 場：東京体育館 第2会議室

3 出席者：

理事総数 18名

出席理事 14名

会長（代表理事） 木村憲治

理事 志水雅一、下山隆志、桐原勇人、井原実、岡野貞彦、坂本友理、
迫田義人、竹内浩、竹下佳江、中上孝文、林義治、丸山由美、
宮嶋泰子

監事総数 3名

出席監事 2名 西川秀人、廣紀江

4 議 長：木村憲治

5 決議事項

- (1) 功労者 I 表彰の決定について
- (2) コンプライアンス規程の改定について
- (3) ナショナルコーチへの推薦について
- (4) 特定費用準備資金の積立てについて
- (5) 第8期・2017年度事業計画の一部変更について

6 議事の経過の要領及びその結果

会長が議長席に着き開会を宣し、本理事会は、定款第41条に定める定足数を満たしており、適法に成立した旨を告げた。また、林事務局長がFIVB主催の国際会議へ出席のため、本日不在となり、代わりに事務局員が説明することについて、会長より説明がなされた。続いて議事録記名押印理事に井原理事を選出し、議案の審議に入った。

(1) 功労者 I 表彰の決定について

功労者 I 表彰の決定について以下の説明がなされ、賛否を諮りこれを承認可決した。

1月10日に各加盟団体宛に功労者 I 表彰推薦を依頼したところ、(公財)東京都バレーボ

ール協会より下記 1 名が推薦された。2 月 28 日に表彰委員会を開催し、審査を行った結果、表彰基準を十分満たしており、バレーボール界への貢献も非常に大きいことから、功労者 I 表彰候補者として理事会へ推薦することを決定した。本日の理事会で正式に承認をお願いしたい。

【功労者 I 表彰基準】

- ・全国的に組織されたバレーボール競技団体（加盟全国連盟）の役員又は本会委員会委員及び協力社等の立場からバレーボールの普及・発展に著しく功績のあった方
[当該関係暦 20 年以上]
- ・全国的・国際的規模の競技会レベルの指導者として競技人口の拡大または競技水準の向上に著しい功績のあった方 [当該関係暦 30 年以上]

【功労者 I 表彰推薦候補者】

高橋 治憲 [公益財団法人東京都バレーボール協会 会長]

【推薦理由】

長期にわたり JVA の指導普及委員会の委員、副委員長として中学校指導者等の指導育成に従事し、特に難しいといわれている男子バレーボール部員の裾野拡大に尽力した。

また、JVA 理事として協会の堅実な運営を図り、JVA 監事としては赤字状態にある協会の財政について適切な助言・指導を行い、2016 年度の財政の健全化に貢献された。更に、全日本ジュニア・ユースチームの団長として、アジア・世界選手権大会に参加したときには、遠征時のチームの統制・強化に留まらず、選手の健康管理にも尽くされ、幾度となく準優勝等の実績をあげている。この様なバレーボール界における輝かしい実績と貢献から高橋氏を功労者表彰 I に推薦する。

(2) コンプライアンス規程の改定について

コンプライアンス規程の改定について以下のとおり説明がなされ、賛否を諮りこれを承認可決した。

前回開催の理事会にて、コンプライアンス規程の第 4 条（適用範囲）の適用対象者の中に「(3) JVA 加盟団体及び準加盟団体の役員、評議員及び事務局の職員」と記載されているが、第 21 条（懲戒処分）には対象者として「準加盟団体の役員」の記載漏れがある事について指摘があったため下線部を追記することとしたい。

<コンプライアンス規程抜粋>

第5章 処罰

第4条 (3) 「JVA加盟団体及び準加盟団体<追記>の役員、評議員及び事務局の職員」については、所属する組織に対する事実内容の報告、その他必要に応じた処分

(3) ナショナルコーチへの推薦について

ナショナルコーチへの推薦について説明がなされ、賛否を諮りこれを承認可決した。

ナショナルコーチ制度は、文部科学省が日本オリンピック委員会に委託している事業であり、ジュニア世代からトップレベルの競技者までの育成・強化を効果的に推進し、強化活動全体を統括する責任者をオリンピックでメダルの獲得が期待できる競技団体から推薦することができる制度である。本件の推薦にあたっては、理事会等の組織決定を経て推薦することが義務付けられており、本協会としては、ナショナルコーチに強化事業本部長の鳥羽賢二氏を推薦することといたしたい。

【推薦理由】

鳥羽氏は、筑波大学卒業後、サントリー株式会社バレーボール部に在籍。チームの中心選手として活躍し個人賞も受賞。現役引退後はサントリー本社に勤務。海外支店長の経験もあり国際経験、マネジメント能力の高い人物である。2001年サントリーサンバーズチームの監督に就任。2001年～2003年度においてVリーグ3年連続優勝を果たすなど指導力においても優れた結果を残している。又、2008年からは全日本男子強化委員長に就任し、選手強化において大きな貢献を果たしている。バレーボールとしての経験、実績とともに、監督、社業経験による指導能力と海外との幅広いネットワークなど、2020東京五輪を目指す日本のバレーボールの強化において最も相応しい人物である。よって、ここにナショナルコーチに推薦する。

なお、アシスタントナショナルコーチには業務執行理事 兼 ビーチバレーボール事業本部副本部長の桐原勇人氏を推薦予定であるが、継続申請となるため、理事会承認決定は不要となる。

(4) 特定費用準備資金の積立てについて

特定費用準備資金の積立てについて説明がなされ、賛否を諮りこれを承認可決した。

(提案理由)

2020年の東京オリンピックを控え、本会としてやるべき課題は多い。将来の特定の活動の実施のために特別に支出する費用として、以下の特定費用準備資金及び特定資産取得資金(あわ

せて「特定費用準備資金等」という)を今後、総額で410百万円積み立てることを提案する。なお、2016年度に積み立てる金額は決算数値が確定後、速やかに理事会の承認を得ることとしたい。

【特定費用準備資金①】

- ・資金の名称：2020 インドア強化積立金
- ・将来の特定の活動の名称： 2020 東京オリンピック・インドア強化事業
- ・活動の内容：2020 東京オリンピックにむけてインドアをさらに特別強化する
- ・計画期間： 2017（平成 29）年度～2019（平成 31）年度の3年間
- ・活動の実施予定時期：2017～2019 年度
- ・積立限度額：180 百万円
- ・積立額の算定根拠：海外派遣費・旅費交通費 120 百万円、人件費 30 百万円、ソフトウェア・器具備品 30 百万円

【特定費用準備資金②】

- ・資金の名称：2020 ビーチ強化積立金
- ・将来の特定の活動の名称： 2020 東京オリンピック・ビーチ強化事業
- ・活動の内容：2020 東京オリンピックにむけてビーチを特別に強化する
- ・計画期間：2017（平成 29）年度～2019（平成 31）年度の3年間
- ・活動の実施予定時期：2017～2019 年度
- ・積立限度額：120 百万円
- ・積立額の算定根拠：男女海外合宿として3年間で60日相当
人件費 50 百万円、旅費交通費 70 百万円

【特定費用準備資金③】

- ・資金の名称：100 周年記念事業積立金
- ・将来の特定の活動の名称：JVA 創立 100 周年記念事業
- ・活動の内容：協会発足 100 周年を機会に一層の普及をめざす
- ・計画期間：2016（平成 28）年度～2025（平成 37）年度の10年間
- ・活動の実施予定時期：2027 年度
- ・積立限度額：50 百万円
- ・積立額の算定根拠：印刷製本費・委託費 50 百万円

【特定資産取得資金④】

- ・資金の名称：タラフレックス取得積立金
- ・対象資産の名称：タラフレックス
- ・目的：国際大会においての使用拡大
- ・計画期間：2018（平成 30）年度～2020（平成 32）年度の3年間

- ・資産の取得予定時期：2018～2020 年度
- ・資産取得に必要な額：60 百万円
- ・取得額の算定根拠：10 百万円×6 台

(5) 事業計画の一部変更について

事業計画の一部変更について説明がなされ、賛否を諮りこれを承認可決した。

現在、会計区分の再整理に向けて、内閣府に申請手続きを行っているが、申請内容に変動が生じ、一部事業の廃止を申請することとなった。2017 年度の事業計画は 2016 年度第 7 回理事会（臨時）にて既に承認を受けているが、一部事業の廃止によって不要となる事業を、計画から削除したい。

P9. (6) 地域グループ育成・強化事業 <削除>

本会の加盟団体である都道府県バレーボール協会及び全国的に組織されたバレーボール競技団体の育成、強化を目的に、団体運営ほか各種の支援を行う。

7 報告事項

(1) 内閣府へ認定申請変更の経過報告

内閣府へ認定申請変更の経過について報告された。

2016 年 12 月 13 日に開催された 2016 年度第 7 回理事会（臨時）にて、事業区分を再整理することについて承認を受けたが、その後の経過としては、2 月 20 日に内閣府へ申請し、順調にいけば 3 月 31 日までには、答申が下りる予定である。

(3) 功労者Ⅱ表彰報告

功労者Ⅱ表彰について、下山業務執行理事より以下の通り報告された。

○第 7 期（2016 年度）第 4 回功労者Ⅱ表彰者

- | | |
|--------|-------------------------|
| 倉地 修 | （新潟県バレーボール協会 副会長） |
| 寺田 美代子 | （埼玉県バレーボール協会 参与） |
| 長谷川 好信 | （岐阜県バレーボール協会 参与） |
| 山本 常雄 | （静岡県バレーボール協会 会長指名理事） |
| 鈴木 力正 | （元（公財）東京都バレーボール協会 常務理事） |
| 藤田 充男 | （岐阜県バレーボール協会 参与） |
| 内藤 繁次 | （山梨県バレーボール協会 監事） |
| 松下 光一 | （（一財）広島県バレーボール協会 副会長） |
| 山中 しづ枝 | （（一財）広島県バレーボール協会 理事） |
| 伊達 勉 | （徳島県バレーボール協会 副会長 兼 理事長） |

(4) 2016 年度第 4 四半期職務執行報告

法令及び理事会運営規程に基づき、2016 年度第 4 四半期の職務執行報告が、木村会長及び業務執行理事より行われた。主な報告内容は以下の通りである。

【木村会長、強化事業本部長、ビーチバレーボール事業本部長】

- ①春の高校バレー大会 挨拶 及び 代表者会議出席
- ②（公財）東京都バレーボール協会国体総合優勝祝賀会 出席
- ③中期計画アクション A リーダー会議出席、プラン検討
- ④Vリーグ機構 運営会議 出席
- ⑤加盟団体代表委員総会 出席
- ⑥感謝の夕べ 開催
- ⑦全国指導普及委員長・加盟連盟指導普及委員長会議・研修会 出席
- ⑧男女強化委員会 出席

【林業務執行理事 事務局長】

- ①コンプライアンス委員会 出席
- ②各種イベント・セミナー、表彰式 参加
- ③各協力社、関係先との折衝、関係団体との連携
- ④強化スタッフ契約交渉関連
- ⑤2050 年構想、中期計画活動計画策定準備
- ⑥FIVB 主要 5 カ国会議（スイス 出席）
- ⑦全国家庭婦人いそじ大会 視察
- ⑧Vリーグ機構 関連業務

【下山業務執行理事、国際・国内事業本部長】

- ①春の高校バレー代表者会議 出席、大会運営等
- ②9 人制プロジェクト会議 出席
- ③国民体育大会 打合せ
- ④中期計画アクション C 会議出席、プラン検討
- ⑤FIVB 審判規則委員会会議（スイス）出席
- ⑥コーチングバレーボール基礎編 作成
- ⑦コンプライアンス部会 開催
- ⑧高崎市長(2017 ワールドグランプリ開催) 敬訪問

【井原業務執行理事 業務推進室長、ビーチバレーボール事業本部副本部長】

- ①ビーチバレーボールコート建設関連
- ②人事総研との打合せ（人事制度導入）

- ③ビーチバレーボール教本の制作に向けての打合せ
- ④内閣府及びスポーツ庁に事業区分についての内容説明
- ⑤ビーチバレーボール事業本部、企画・広報部会の打合せ
- ⑥コンプライアンス委員会 出席
- ⑦ビーチバレーボール定例会議 出席
- ⑧中期計画アクションB会議 出席、プラン検討

【桐原業務執行理事　ビーチバレーボール事業本部副本部長】

- ①全国高等学校体育連盟常任委員会 出席
- ②ビーチバレーボール強化関連業務（スタッフ面談、指導）
- ③JOC アスナビ交流会 参加
- ④中期計画　アクションA会議 出席、
- ⑤AVC ビーチバレーボール委員会（タイ）出席
- ⑥U-21 女子日本代表選手のアジア選手権事前合宿の指導、視察
- ⑦アジアツアー準備委員会 開催
- ⑧国際大会（FIVB 女子 2Star、男子 4Nations Cup／オーストラリア）視察

以上をもって、議事の全ての審議を終了した為、議長は 16 時 30 分に閉会を宣した。